

# 電子版センターだより

Gunma Prefectural Education Center

群馬県総合教育センター - No.25 -

令和2年7月15日(水)配信



## <掲載内容>

頁

|   |                       |   |
|---|-----------------------|---|
| 1 | 研修講座の御案内              | 1 |
| 2 | メンター研修で学校を活性化しましょう！   | 2 |
| 3 | 特別支援教育センター：研修推進資料の紹介  | 3 |
| 4 | 幼児教育センター：夕やけ保育研修会     | 4 |
| 5 | 子ども教育相談室の紹介           | 5 |
| 6 | カリキュラムセンターの紹介         | 6 |
| 7 | 「第18回 ぐんま教育賞 杉の子賞」の募集 | 7 |
| 8 | 当センターへ来所される方へ         | 8 |

\* 編集後記 \*

## 研修講座の御案内

### 新型コロナウイルス感染症拡大防止による研修講座の見直しについて

4月から開催を中止しておりました研修講座を、6月30日の高校初任者研修を皮切りに再開いたしました。研修講座を見直し、実施要項を当センターWebページに掲載いたしましたので参照いただき、研修を受講してください。また、研修当日の朝、自宅検温をし、健康状態申告書に必要事項を記入して、受付に提出してください。用紙は、当センターWebページからダウンロードすることができます。【<http://www.nc.center.gsn.ed.jp/>】

現在も、追加の申込を受け付けております。

### 「ぐんま教職員キャリアアップ研修講座」 【講座コード3471】

急速に変化する社会に対応した教育の在り方を理解するとともに、学校運営への参画意識や実践的指導力を高め、同僚や地域と協働して教育活動を推進する力を身に付けます。

| 期日                                 | 講義・内容等 |  | 受付時間                                   |
|------------------------------------|--------|--|--|
| 12/2<br>(水)<br>(期日選択コード)<br>120299 | 第一日    | 講義「すぐそこにある未来の学びの姿と教師の役割」<br>(13:35~16:30)<br>講師 経済産業省 商務・サービスグループ教育産業室<br>サービス政策課長(併)教育産業室長 浅野 大介(予定)  | 13:15<br>~13:30                        |
| 1/21<br>(木)<br>(期日選択コード)<br>012199 | 第二日    | 講義「学校運営への参画と組織的な取組の推進」<br>(13:35~14:55)<br>講師 (学)有坂中央学園 副理事長 中島 慎太郎<br>【コマ選択コード 012101】<br>講義「地域とともにある学校づくりとこれからの教職員に期待すること」<br>(15:10~16:30)<br>講師 (株)ボルテックスセイグン 代表取締役社長 武井 宏<br>【コマ選択コード 012102】 | 13:15<br>~13:30<br><br>14:55<br>~15:10 |

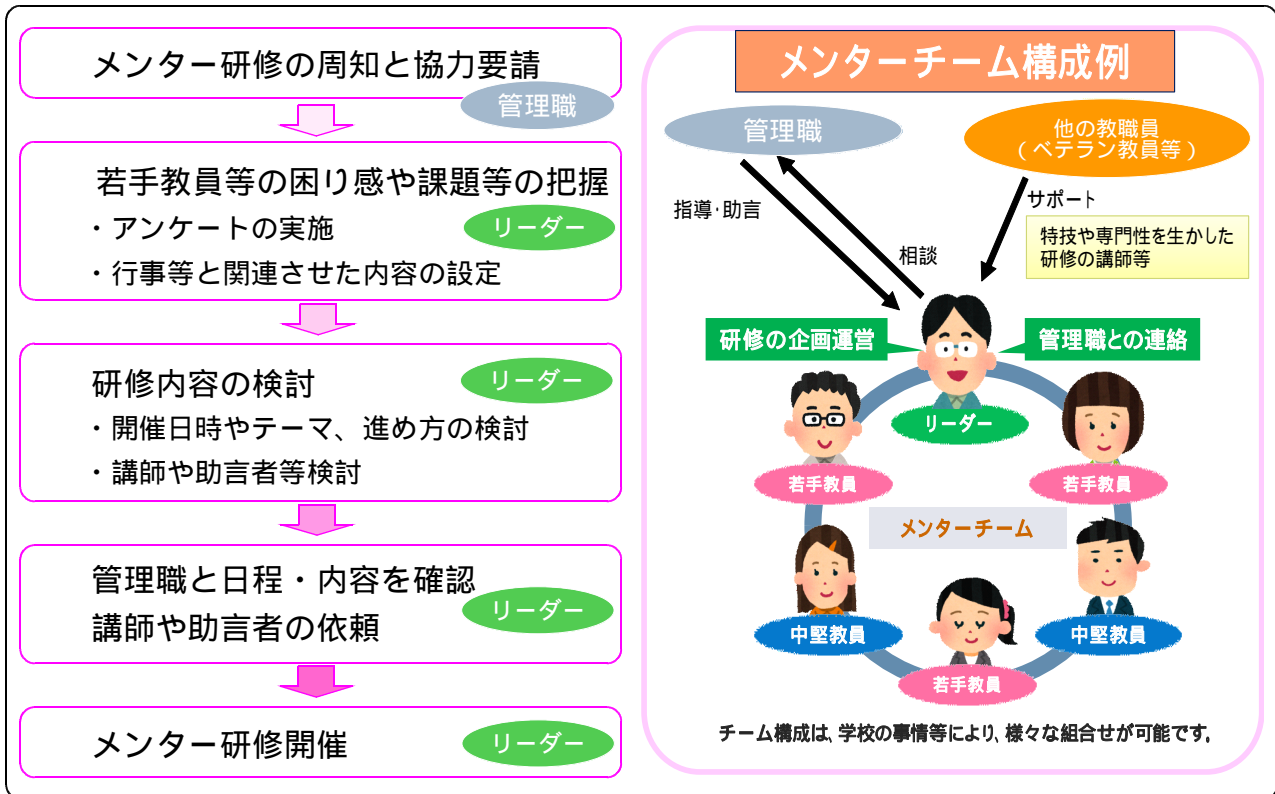
今年度、新規開設する希望研修を御紹介します。皆様の参加をお待ちしております。

| 研修講座名              | 目 的  |
|--------------------|--|
| 食育研修講座             | 食育について、授業のねらいに迫るための教材や学習活動などを学び、学校での食育推進につなげます。  |
| 若手教員のための学校運営参画研修講座 | 若手教員の主体的な学校運営における参画意識を養うとともに、組織の一員として積極的に学校運営に参画する力や、校務を円滑に遂行する力の向上を図ります。                |
| 学校安全研修講座           | 学校安全に関する現状と課題を理解し、危機意識を高めるとともに安全管理・安全教育の推進・充実を図り、児童生徒の安全に関する資質・能力の育成を図ります。               |
| 『チームとしての学校』推進研修講座  | 専門性に基づくチーム体制づくりや学校マネジメント機能の強化、組織的対応のための外部人材との連携等を学ぶことによって、「チームとしての学校」づくりにつなげます。          |
| 地域とともにある学校づくり研修講座  | 学校が地域と一体となって子供たちを育むために、地域と連携・協働するためのポイントについて学び、地域と協働する学校経営の推進や、コミュニティ・スクール導入の糸口について探ります。 |

## メンター研修で学校を活性化しましょう！

メンター研修とは、様々な立場や経験の教職員がチームを作り、リーダーを中心に協議や実習等を行う中で、互いの資質・能力を高める人材育成システムです。メンター研修のよさは、研修に対する参加者の主体性を引き出し、共に考え発言する中で、成長していくことができることです。さらに、参加者やサポートする教職員の互恵的な関わりによって、同僚性やチーム力の向上にもつながります。

### 1 メンター研修開催までの進め方



### 2 令和元年度の実践校の主な内容

- |                                 |               |             |
|---------------------------------|---------------|-------------|
| ○授業研究（模擬授業と授業検討）                | ○各種運動の具体的な指導法 | ○絵画指導のポイント  |
| ○道徳の授業づくりと評価                    | ○ICTを用いた授業展開  | ○学習規律と集団づくり |
| ○学級経営（学級開き、掲示物、朝・帰りの会、係活動、給食指導） | ○通知表・要録の書き方   | ○日常の生徒指導    |
| ○授業参観・懇談会・家庭訪問                  | ○保護者対応        | ○行事に向けた指導   |
| ○部活動の指導                         |               | ○適切な会計処理    |

### 3 メンター研修に参加した若手教員の感想より

- 自分の課題について率直な意見交流ができ、解決のヒントが得られたので試してみたい。
- 実践例や具体的なアイデア・工夫、実際の文例、先輩の失敗談が参考になった。
- 自分の課題は、みんなも課題だと思っていることが分かった。学んだことを今後に生かしたい。
- 決められた時間に終わり、充実した時間だった。研修後、先輩の先生に話し掛けやすくなった。

詳しくは、「学校で、教師も学ぶメンター研修」リーフレットをご覧ください。

【[http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page\\_id=467](http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=467)】

## 特別支援教育センター：研修推進資料の紹介

特別支援教育センターでは、特別支援教育の推進に役立つ資料を発行しています。

【今回の紹介】

- 1 指導資料「高等学校における特別な配慮が必要な生徒への切れ目ない支援の実現に向けて」
- 2 研修資料「各教科等における学習上の困難さに応じた指導の工夫の例  
～高等学校学習指導要領解説（平成30年告示）から～」

当センターWebページよりダウンロードできるようになっています。

[【http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page\\_id=249】](http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=249)

### 1 指導資料「高等学校における特別な配慮が必要な生徒への切れ目ない支援の実現に向けて」

県内高校へのアンケート結果をもとに作成した資料です。具体的な実践例も紹介しています。

- 生徒の実態把握の方法
- 生徒の情報についての校内周知・共有方法、指導への生かし方
- 毎日の指導の充実のさせ方
- 卒業後の姿を見据えた指導・支援の方法 等

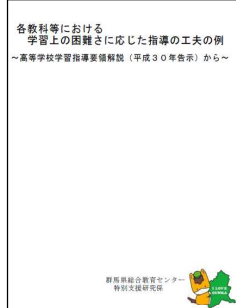


### 2 研修資料「各教科等における学習上の困難さに応じた指導の工夫の例

～高等学校学習指導要領解説（平成30年告示）から～

高等学校学習指導要領（平成30年3月）で示された、「障害のある生徒などへの指導」について、各解説に示された指導の工夫の例を抜粋し、一覧にした資料です。

- 国語、数学、理科、外国語・英語、芸術、音楽、保健体育等の教科等、また、農業、工業、商業、水産、看護等の専門学科ごとの工夫例



## 特別支援教育センターの紹介

特別支援教育センターでは、特別支援教育に関する研修資料、指導資料、リーフレットの提供、検査器具の貸出、研修会・学校授業公開等のお知らせ、群馬大学との連携事業「実践交流会」、研修サイトの紹介を行っています。群馬県総合教育センタートップページよりアクセスして御覧いただけます。

群馬県総合教育センタートップページを開くと下のアイコンがあります。このアイコンをクリックしていただくと右の画面になります。



### 特別支援教育センター

電話 0270-26-9218(特別支援研究係)  
E-mail tokushi@edu-g.gsn.ed.jp (@を半角にてお使いください)

特別支援教育の充実に向けて、指導方法等に関する情報発信や機関連携を行います。

◆事業内容の紹介

■情報発信  
子ども理解や授業づくり役立つ指導資料の発行や特別支援教育に関する研修会の案内を行います。また、心理検査器具の貸し出しを行います。

研修会  
学校授業公開  
の案内  
についてはこちら

群馬大学との連携事業  
「実践交流会」  
の案内  
についてはこちら

教員のための研修サイトの紹介  
についてはこちら

是非、御活用ください！

## 幼児教育センター：夕やけ保育研修会

幼児教育センターでは、幼児教育や家庭教育、幼保こ小の連携・接続をめぐる課題を解決し幼児期の教育の充実を図るため、幼児教育施設・小学校・特別支援学校等の教職員や子育ての支援者の皆様を対象とした夕やけ保育研修会を実施しています。

今年度は年間10回の研修を企画しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、7～8月に予定していた4回の研修を中止することとなりました。すでにお申し込んだ方には、御迷惑をお掛けすることとなり、大変申し訳ありません。

今回は、9月以降の夕やけ保育研修会の予定をお知らせいたします。

12月24日(木)の特別講演会では、宮里暁美先生を講師に迎え、「幼児期にふさわしい生活を考える」をテーマに御講演いただきます。皆様の御参加をお待ちしています。

9月以降の「夕やけ保育研修会」の予定

幼保こ小の連携・接続について 15:15～16:50(受付15:00～15:15)

|           |                   |   |
|-----------|-------------------|---|
| 11月25日(水) | 榛東村役場会議室<br>(榛東村) | 「幼児期の教育と小学校教育の接続」<br>群馬パース大学福祉専門学校<br>副校長 田子 文子 氏 |
|-----------|-------------------|---|

発達の理解と保育について 15:15～16:50(受付15:00～15:15)

|           |                       |  |
|-----------|-----------------------|--|
| 9月 3日(木)  | 市民活動センター<br>ソシアス(高崎市) | 「幼児期の発達の理解と保育」<br>群馬大学大学院 准教授 大島 みずき 氏   |
| 9月 8日(火)  | 郷谷公民館<br>(館林市)        | 「気になる幼児の理解と支援」<br>NPO法人リンケージ 理事長 石川 京子 氏 |
| 11月30日(月) | 九合行政センター<br>(太田市)     | 「気になる幼児の理解と支援」<br>anomira 代表 北爪 浩美 氏     |

心身を癒やすリフレッシュ講座 15:15～16:50(受付15:00～15:15)

|           |                     |  |
|-----------|---------------------|--|
| 12月 3日(木) | 県総合教育センター<br>(伊勢崎市) | 「先生方のためのヨガ講座」<br>高崎健康福祉大学 准教授 山西 加織 氏<br>持参物:体育館シューズ・タオル 服装:運動のできる服装 |
|-----------|---------------------|--|

特別講演会 14:00～16:00(受付13:30～13:55)

|           |                     |  |
|-----------|---------------------|--|
| 12月24日(木) | 県総合教育センター<br>(伊勢崎市) | 「幼児期にふさわしい生活を考える<br>～「遊び」の意味と重要性～」<br>お茶の水女子大学教授<br>文京区立お茶の水女子大学こども園長<br>宮里 暁美 氏 |
|-----------|---------------------|--|

9月以降の研修についても変更の可能性があります。変更等については、幼児教育センターWebページにて、お知らせいたします。

【申込方法】 Webページから、「夕やけ保育研修会申込用紙」をダウンロードして、FAXでお申し込みください。 [群馬県総合教育センター 幼児教育 夕やけ保育研修会](#)  
御不明な点は電話又はメールで幼児教育センターまでお問い合わせください。

TEL: 0270-26-9203(直通) E-mail [youji@edu-g.gsn.ed.jp](mailto:youji@edu-g.gsn.ed.jp)

詳しくは、Webページを御覧ください。【 [http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page\\_id=74](http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=74) 】

## 子ども教育相談室の紹介

子ども教育相談室では、「子ども教育・子育て相談」として、乳幼児から高校生までの教育や子育てに関する相談に対応しています。今年度も「子ども教育相談カード」を県内の各学校・園に配布しました。是非、御活用ください。

### 子ども教育・子育て相談 ☎0270-26-9200

月曜日～金曜日 9:00～17:00  
第2・4土曜日 9:00～15:00  
(祝日・年末年始は除きます)

発達の遅れや就園・就学

学校・園での生活や学業

いじめや不登校

生活習慣や子育て など

来所相談も行っています



Webページが見られます



群馬県総合教育センター 子ども教育相談室  
〒372-0031 伊勢崎市今泉町1丁目233-2

### 「子ども教育・子育て相談」について

電話相談・来所相談・訪問相談（発達相談のみ）を実施しています。

来所相談は予約制ですので、事前にお電話ください。

（電話相談の通話料は有料です。）

### 「24時間子供SOSダイヤル」について

いじめに関する緊急の相談や子供のSOS全般に対応するため、24時間、通話料無料で相談を行っています。

保護者の方も相談することができます。

いじめに悩んだら、  
心配な友達がいたら、  
いつでも相談してください。



24時間子供SOSダイヤル  
☎0120-0-78310

24時間通話料無料

★保護者の方も、相談できます

### 臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士に相談できます

「子ども教育相談室」では、臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士への相談を受け付けています。子供への関わり方等について、一緒に考えたり、それぞれの立場から専門的なアドバイスを受けたりすることができます。

毎月第2・第4土曜日には、言語聴覚士による「ことばの発達土曜相談」を行っています。

また、子育てや子供との関わりについて、同じ悩みをもつ保護者が臨床心理士と一緒に話し合う「あったかスマイル相談会」も月1回実施しています。参加者からは「(他の保護者からの話を聞くことで)自分だけが悩んでいるのではないことが分かり、気持ちが楽になりました」「日々の子育てのヒントになりました」等の感想をいただいています。

臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士への相談は事前予約が必要です。希望される方は、電話にてお問い合わせください。

開催日等の詳細については、当センターWebページの「子ども教育相談室」

【[http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page\\_id=375](http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=375)】を御覧ください。

## カリキュラムセンターの紹介

当センター2階にあるカリキュラムセンターでは、特色ある教育活動の実現や授業の改善・充実などに役立つ教育資料・図書等を収集し、閲覧・貸出を行っています。



### 新着図書の紹介

最新の図書を53冊配架しました。

今後も2ヶ月に1回程度、新着図書を配架していきます。

新着図書一覧【[http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?action=common\\_download\\_main&upload\\_id=11838](http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?action=common_download_main&upload_id=11838)】

#### 主な新着図書

##### 学校経営

- ・こうすれば、学校は変わる！ 「忙しいのは当たり前」への挑戦 (妹尾 昌俊 著)
- ・学校のリスクマネジメント ハンドブック (坂田 仰 著)

##### 教科指導

- ・「ものづくり」と職業教育 - 工業高校と仕事のつながり方 - (片山 悠樹 著)
- ・仲間と見合い磨き合う授業研究の創り方 (齋藤 浩 著)

##### 情報教育

- ・AIに負けない子どもを育てる (新井 紀子 著)
- ・EdTechが変える教育の未来 (佐藤 昌宏 著)

##### 特別支援教育・幼児教育

- ・「自立活動の指導」のデザインと展開 (北川 貴章 著)
- ・0 - 5歳児子どもの「やりたい！」が発揮される保育環境 (宮里 暁美 著)

##### 生徒指導・教育相談

- ・ぼくらの中の「トラウマ」 いたみを癒やすということ (青木 省三 著)
- ・居場所がほしい 不登校生だったボクの今 (浅見 直輝 著)

##### スクールロイヤー関連

- ・実践事例からみるスクールロイヤーの実務 (石坂 浩 著)
- ・学校現場のための教育紛争対策ガイドブック (神内 聡 著)

### 新型コロナウイルス感染症拡大防止「利用ガイド」(一部抜粋)

「利用ガイド」を作成しました。御協力の程、よろしくお願いいたします。

#### 利用者の安全確保

- ・マスクの着用、手洗い・手指消毒・うがいの励行
- ・利用者多数(20名程度)の場合の入場制限

#### 入退出時

- ・入口：利用者シートの記入(御自身の筆記用具)し、指定の箱へ
- ・出入口：手指の消毒

#### 資料の閲覧・貸出、情報サービス

- ・書架等での閲覧した(手に取った)ものは、書架に戻さずに返却台へ
- ・事前の電話連絡での予約(Tel 0270-26-9208)



詳しくはこちらで

## 「第18回 ぐんま教育賞 杉の子賞」の募集

本賞は、教職員から群馬県の教育の向上に関する考え方や取組を募集するとともに、寄せられた教育の向上に関する提言やアイデアを共有し、広報活動を行うことで、群馬県の教育力向上を目指すことを目的としています。

### 募集内容

- ・教育に関する考えや実践等についての文章・論文
- ・A4判(1枚40字×45行)で10枚以内

### 賞(各部門ごと)

- ・最優秀賞 一編(賞状・図書カード2万円分)
- ・優秀賞 若干編(賞状・図書カード1万円分)

### 応募期間

令和2年8月31日(月)～10月9日(金)必着

### 応募方法

郵送又は電子メール

### その他

ワープロソフト等で作成をお願いします。

タイトルは、12ポイント MSゴシック体

サブタイトルは、10.5ポイント MSゴシック体

本文は、

10.5ポイント MS明朝体

項立て、箇条書きなどを取り入れ、読みやすさを重視してください。

図、表、写真などを入れて全体のレイアウトを工夫してください。

肖像権、著作権等に十分配慮してください。

～たくさんの御応募をお待ちしています～

送付・問合せ先

群馬県総合教育センター内 ぐんま教育賞募集事務局

〒372-0031 伊勢崎市今泉町1-233-2

0270-26-9214(直通) Fax 0270-26-9222

URL: [http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page\\_id=183](http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=183)

e-mail: [g-kyoikusho@edu-g.gsn.ed.jp](mailto:g-kyoikusho@edu-g.gsn.ed.jp)

令和2年度 第18回  
**ぐんま教育賞**  
杉の子賞  
～分かち合おう！育てる知恵、教える知恵～

**募集内容** 教育の向上のために日頃実践していること、研究していること等について、自由に主題を設定し、論文形式にまとめてください。

**対象** 県内の幼稚園・小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校・大学等教育関係機関に勤務する教職員

**応募原稿様式** ワード原稿、A4判縦書き、横書き  
40字×45行で10枚以内(資料、図、表を含む)

**応募形態** 個人、団体又は共同

令和元年度 最優秀賞 ■ 県民力・県民力・県民力を育成する県立不登校の取組  
一 私立学習を適用した授業実践から一

同 優秀賞 ■ 全教職員による組織的な自習指導を目標として  
一 授業実践の取組への取組を推進して一  
■ 互いを認め合い、よりよい(生き方を追求する生徒の育成  
一 等)を、備忘する「道徳」の推進づくりに一  
■ 外部活動を通じて相手機関と連携・コミュニケーションを図ろうとする児童の育成  
一 自分で異なるコミュニケーションのやりかたを用いて一

**募集期間** 令和2年 8月31日(月)～10月9日(金) 必着

最優秀賞1編、優秀賞若干編を表彰します。

**最優秀賞** 1編(賞状・図書カード2万円分)

**優秀賞** 若干編(賞状・図書カード1万円分)

(備考)  
(1)未発表のものとなります。  
(2)郵送又は電子メールにてご応募ください。応募時又はメールの添付に以下の送付履歴(届)を添付してください。  
(3)表紙に以下の項目を印刷してください。  
●氏名  
●住所(個人、団体又は共同)  
●住所(個人、団体又は共同)  
●連絡先(電話番号・メールアドレス)  
●団体の場合は団体名、共同の場合は共同応募者全員の氏名  
(4)印刷した賞状・賞状については出席を希望するときに、文中の送付先(住所)を修正する場合は、個人情報に異なるものは印刷してご送付ください。  
(5)応募原稿は、返却しません。また、入賞作品について、主催等の儀式を希望する場合があります。

送付  
お問い合わせ先

ぐんま教育賞募集事務局 ☎ 0270-26-9214  
URL: <http://www.nc.center.gsn.ed.jp/> 〒372-0031 伊勢崎市今泉町1-233-2  
主簿: 群馬県教育委員会 (主簿: 群馬県総合教育センター) e-mail: [g-kyoikusho@edu-g.gsn.ed.jp](mailto:g-kyoikusho@edu-g.gsn.ed.jp)



## 省エネ・節電に取り組んでいます。

冷房は、天候に応じて弾力的な運転を行っています。

10月までの期間に来所される際は、クールビズでの来所をお願いします。

## 交通事故防止に御協力をお願いします。

当センターには、毎日多くの方が車で来所され、駐車場を利用されます。

センター敷地内を車で通行する際は、車だけでなく歩行者にも注意していただき、交通事故防止に御協力をお願いします。

### \* 編集後記 \*

通算25号となる「電子版センターだより」をお届けします。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から受講者皆様の安全を第一に考え、8月末までの講座開催を中止とさせていただいております(初任者研修を除きます)。そのような中でも、県総合教育センターとして皆様に情報発信できるよう、講座内容によって当センターWebページにて資料提供等を行っております。是非、御活用ください。

また、9月からの講座再開に向け、各学校の教育課題と向き合うために、小・中学校、高校、特別支援学校等それぞれの教職員に向け、それぞれの特色を生かした講義や、指導力や専門性を高める各研修講座を企画し、中止となった内容について可能な限り盛り込むようにして皆様に受講いただけるよう準備を進めております。

各研修講座の詳細については、当センターWebページの「研修講座」を御覧ください。

([http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page\\_id=191](http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=191))

当センター2階のカリキュラムセンターでは、授業改善等に資する教育関係資料を豊富に取り揃えております。資料は貸し出すこともできますので、是非、御利用ください。(文・K・S)